研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 10 日現在

機関番号: 11201

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2021~2023

課題番号: 21K00885

研究課題名(和文)日本に所蔵される中国古印に関する調査研究ー岩手県立博物館蔵品を中心として

研究課題名(英文)Research on Chinese ancient seals held in Japan-Focusing on the collection of the Iwate Prefectural Museum-

研究代表者

劉 海宇(Liu, Haiyu)

岩手大学・平泉文化研究センター・客員教授

研究者番号:70649441

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2.100.000円

研究成果の概要(和文): 本研究は、岩手県立博物館が所蔵する先秦期から清代にわたる官印と私印等1094顆中国古印を中心とした調査研究である。印譜のみによる従来の平面的研究法を脱して古印の印影・印面・印鈕・法量(縦・横・高・重量)を徹底的に調査し、あわせて釈文・分類(官印・私印等)・著録目などの情報を総合的・体系的に検討整理することにより、考古学と文献史学的研究手法を通してこれらの古印の固有の価値を解明し

た。
具体的には岩手県立博物館蔵古印を中心とした関連研究論文12本は雑誌等に掲載され、著書『日本岩手県立博 物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印』などは刊行された。日本に所蔵される中国古印研究を大きく推進した。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究成果の学術的意義としては、岩手県立博物館蔵中国古印を中心としてデジタル機器を活用して古印の印影・印面・印鈕・法量などを詳細に調査し、釈文・分類(官印・私印等)・著録目などの情報を総合的・体系的に検討整理してこれら古印の歴史的学術的な価値を解明した。また、中国で出土した簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら、考古学と文献史学的研究手法を通してかつ最新の古代文字学知識をもって未解読である古印の文 字を釈読した。

・社会的意義としては、研究論文12本・著書 2 冊は刊行され、岩手県立博物館などに所蔵される中国古印等を国際的に宣伝して広く世の中に知らされた。

研究成果の概要(英文): This research is a survey of 1,094 ancient Chinese seals, including official and private seals from the pre-Qin period to the Qing Dynasty, which are held by the Iwate Prefectural Museum. Comprehensively and systematically examining and organizing information such as texts, classifications (official seals, private seals, etc.), and bibliographies, we have elucidated the inherent value of these ancient seals through archaeological and philosophical research methods.

Specifically, 12 related research papers centered on the Iwate Prefectural Museum's collection of ancient seals were published in magazines and other publications, and the book "Japan Iwate Prefectural Museum Collection Ota Muan Old Collection Ancient Seals" was published. This research greatly promoted the study of ancient Chinese seals in Japan.

研究分野:人文学

キーワード: 中国古印 中国考古学 中国史

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

日本に中国古印が多く舶載されるようになったのは、辛亥革命(1911年)以降である。 現在一万点余り中国古印が日本に収蔵されており、岩手県立博物館以外に藤井有鄰館・ 大谷大学・和泉市久保惣記念美術館(園田湖城旧蔵品)・寧楽美術館などにも収蔵され、 「印章五大コレクション」とされている(久米雅雄 2017『寧楽美術館の印章』思文閣出版)。岩手県立博物館は、中国古印の入蔵後、1990年に企画展「中国古印-太田孝太郎コレクション」を開催し、30頁にわたる図録は刊行されたが、収録された印の数も全体数から見るとごく少なく、詳細なデータは記載されていない。その後も多くの参観者や研究者が訪れているが、研究成果の発表は極めて少なく、目つ限定的である。

2.研究の目的

本研究では、岩手県立博物館蔵中国古印 1094 顆を中心として、デジタル機器を活用して古印の印影・印面・印鈕・法量などを詳細に調査し、実物を観察し、鮮明な画像処理を行い、これらの全情報を公開して、考古学と文献史学的研究手法を通して中国古代制度史・社会史・芸術史においてその固有の価値を明らかにし、今後の学術的研究や篆刻芸術の発展に十分資する古印資料を提供することを目的とするものである。また中国で出土した簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら、および最新の中国古代文字学知識をもって未解読文字を釈読することにより、古代史や古文字学の研究に資することを、副次的目的とする。

3.研究の方法

具体的には、まず太田夢庵の刊行した『夢庵蔵印』の初印本と再印本・『楓園集古印譜』・『楓園集古印譜続集』といった印譜の印影を調査し、岩手県立博物館蔵中国古印「資料基本カード」の登録番号と照合して、太田コレクションから岩手県立博物館蔵中国古印への沿革及び現存状況を明らかにする。つぎに、印影と対照しながら、古印を詳細に観察し、写真撮影・法量計測および印文模写等をして、整理表を作成する。先秦古璽を例にすると、次のように番号・印影・印面写真・鈕形写真・釈文・規格重量・国別・分類・著録目といった項目を立てて整理する。

初印↩	再印₽	縣博↩	印景紀	印面照片₽	印鈕照片₽	釋文↩	規格(縱·橫·高、	國別↩	分類₽	著錄目↩
							單位mm)、重量₽			
初 M3↔	再 M2₽	博 M1↔	VE	N=W		哉(職)伞(判)	30.0×31.4×	楚系₽	官璽↩	魏石 3、璽彙 320、彙考
				漢意		之鉨(璽)₽	11.9、24.9g₽			159、定全 14、夢選 6、
			27	No.						印風 94、分域 158₽

さらに、簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら総合的な歴史学的考古学的研究を行い、古印の固有の価値を歴史学的に解明する。最後に最新の中国古代文字学知識をもって岩手県立博物館「資料基本カード」やほかの著録に未解読または誤解読の印文を解読する。たとえば、次の未解読や誤解読の印文をそれぞれ解読し、「鄭=」・「ূ 」・「 撰」等の字の釈読理由を明らかに考証する。

なお、必要に応じて古印の印文に潜んでいる当時の人々の精神的希求・宗教思想・権利意識や自己表示の方法等に着目して分析・解明する。

4.研究成果

本研究は、岩手県立博物館蔵中国古印において、その固有の学術価値を歴史学的に解明し、未解読の印文を解読した。また、詳細な調査データのもとに、館蔵番号・印影・印面写真・鈕形写真・釈文・規格重量・国別・分類・著録目といった項目を立てて整理し、『日本岩手県立博物館藏太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)』を出版した。予定した研究計画を徹底して十分な研究成果を獲得した。なお、関連内容として日本大和文華館及

び和泉市久保惣記念美術館蔵中国古印の調査研究もある程度実施した。

論文

- 1. 劉海宇、「日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈」、『故宮博物院院刊』2023年12期、102-109頁、査読有。
- 2 . 劉海宇、「大和文華館所蔵の中国古印について」。『大和文華館紀要』143 号、2023 年 9 月、19 - 23 頁。
- 3 . 劉海宇、「漢代斗検封考」、『東方考古』第 21 集、2023 年 7 月、343 353 頁、査 読有。
- 4. 劉海宇、「日本大和文華館蔵古璽印的調査与研究」、『中国篆刻』2023年3期、30-39頁、査読有。
- 5. 劉海宇、「秦漢三国時期塩業官印輯考」、『塩業史研究』2023年第2期、3-11頁、 査読有。
- 6. 劉海宇、「『楓園集古印譜』所収古璽研究」、『印学研究』第18集、2023年2月、103-112頁、査読有。
- 7 . 劉海宇、「所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品」。『書法』2022 年第 8 期、 168 173 頁、査読有。
- 8. 劉海宇、「唐宋以来塩業古官印輯考」、『塩業史研究』2022 年 1 期、30⁻38 頁、査 読有。
- 9. 劉海宇・玉澤友基、「日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値」、『書法』2022 年第2期、62⁻69頁、査読有。
- 10. 劉海宇、「『梅華堂印賞』及其学術価値」、『戦国文字研究』第4輯、2021年12月、51⁻63頁、査読有。
- 1 1 . 劉海宇・玉澤友基、「新発見羅振玉篆刻五方」、『中国国家博物館館刊』2021 年 第 10 期、123-131 頁、査読有。
- 12. 劉海宇・玉澤友基、「『夢庵蔵鈎』所収有銘銅帯鈎調査研究」、『青銅器與金文』 第6集、2021年6月、182-192頁、査読有。

著書

- 1. 劉海宇・玉澤友基、『太田夢庵中国金石収蔵与蔵品著録』、上海書画出版社、2024 年3月27日、1-322頁。
- 2. 劉海宇・玉澤友基、『日本岩手県立博物館藏太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)』、 上海書畫出版社、2021 年 12 月、1 - 299 頁。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件(うち査読付論文 17件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件)

1.著者名	4 . 巻
劉海宇	12期
2.論文標題	5 . 発行年
日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈	2023年
ロヤヤグリクタックでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドウングではいくかりにはいいは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドウングでは、アンドラングでは、アンドウングで	2020-
2 145+47	て 目知に目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
故宮博物院院刊	102 - 109
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
コンシン CN Cloudy (Xion	
1.著者名	4 . 巻
	_
劉海宇	143号
2. 論文標題	5.発行年
大和文華館所蔵の中国古印について	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
大和文華館紀要	19 - 23
ハルスキロルダ	19 - 20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
劉海宇	21集
到/ 停 丁	2174
2 - 50-47-1第15	F 琴红左
2.論文標題	5.発行年
漢代斗検封考	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東方考古	343 - 353
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
\mathcal{R}),	右
なし	有
オープンアクセス	有 国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇	国際共著 - 4.巻 第2期
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 第2期 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇	国際共著 - 4.巻 第2期
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考	国際共著 - 4.巻 第2期 - 5.発行年 2023年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考	国際共著 - 4.巻 第2期 - 5.発行年 2023年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名 塩業史研究	国際共著 - 4 . 巻 第2期 - 5 . 発行年 2023年 - 6 . 最初と最後の頁 3 - 11
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名 塩業史研究	国際共著 - 4 . 巻 第2期 - 5 . 発行年 2023年 - 6 . 最初と最後の頁 3 - 11
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名 塩業史研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 3 - 11
オープンアクセス 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名 塩業史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 3 - 11 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考 3 . 雑誌名 塩業史研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 - 4 . 巻 第2期 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 3 - 11

1.著者名	4.巻
劉海宇	2023年第2期
2 . 論文標題	5.発行年
秦漢三国時期塩業官印輯考	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
塩業史研究	3-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
1 . 著者名	4 . 巻
劉海宇	第21集
2.論文標題	5.発行年
漢代斗検封考	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東方考古	
米刀亏口	343-353
担影や立のDOL(ごごクリナゴご」とし始ロフト	本柱の左伽
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
劉海宇	第143号
到, 世上	第140号
2. 論文標題	5.発行年
大和文華館所蔵の中国古印について	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
大和文華館紀要	19-23
八作义年品礼女	19-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
19 10 10 10 10 10 10 10	重硫の有無
' & ∪	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
劉海宇	2023年第12期
2.論文標題	5.発行年
日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈	2023年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
故宮博物院院刊	102-109
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•

1.著者名	4 . 巻
劉海宇	第18集
m11-g 1	
2	F 整仁左
2 . 論文標題	5.発行年
『楓園集古印譜』所収古璽研究	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『印学研究』	103 112
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
40	净
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 节业47	4 **
1 . 著者名	4 . 巻
劉海宇	第8集
	5.発行年
『千石蔵鏡』所収漢鏡銘文校釈	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
『青銅器與金文』	
月到6次本人』	265-274
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
な ひ	1
	POR NO. 11 de
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
TO THE THE THE TANK AND THE TANK PROPERTY.	L
4	A #
1.著者名	4 . 巻
劉海宇	2022年第8期
m1/ 7	
	5 発行任
2 . 論文標題	5 . 発行年
	5.発行年 2022年
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品	
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品	2022年
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品	2022年
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』	2022年 6 . 最初と最後の頁 168 173
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』	2022年 6 . 最初と最後の頁 168 173
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 -
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 -
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究一兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3. 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇 2. 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究ー兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3. 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 - 査読の有無
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究一兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年
2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 2.論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究ー兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3.雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 - 査読の有無
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究-兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3 . 雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究―兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 - 査読の有無
 2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 2.論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究-兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3.雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149 査読の有無
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究-兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3 . 雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149
 2.論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3.雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 2.論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究一兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3.雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 国際共著 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149 査読の有無 有
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究-兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3 . 雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149 査読の有無
2 . 論文標題 所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品 3 . 雑誌名 『書法』 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印的調査與研究-兼説戦国文字中従犬羊的「幸」字 3 . 雑誌名 第33屆中国文字学国際学術研討会論文集 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 168 173 査読の有無 国際共著 4.巻 無し 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 139 149 査読の有無 有

製剤字 2. 語文権語 (大百価以学 未進古文字世界 3. 神話を 中華苦粛解 (大百価以学 未進古文字世界 3. 神話を 中華苦粛解 (大百価以学 力 大	製造等 2022年19月日 2	,著者名	
2	2. 論文種題		4.巻
2	2. 論文権題 (従五百個漢字走道古文字世界		
従五百個漢字走進古文字世界 2022年 3、雑誌名 6、最初と最後の頁 16版 7オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 1、差者名 製海字 4、巻 1 2、論文標題 福業が明究 5、発行年 2022年 3、雑誌名 海岸と明究 6、最初と最後の頁 30・38 指数論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 2 1、差者名 製海子、盂澤太善 2、論文標題 日本哲手県立博物館蔵古璽印的学術価値 4、巻 2 2、論文標題 日本哲手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5、発行年 2022年 3、雑誌名 構造 6、最初と最後の頁 6と・6の	2022年 3 . 雑誌名 中華読書報 6 . 最初と最後の頁 16版 18版のの回(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが国難 1 . 著名名 劉海宇、王澤友基 2 . 論文標題 別海宇、王澤友基 2 . 論文標題 別海宇、王澤友基 2 . 論文標題 別海宇、王澤友基 2 . 論文標題 別海宇、王澤友基 3 . 雑誌名 3 . 雅誌名 3 . 雅哉名 3 . 雅哉る 4 . 巻 2 . 論文展題 6 . 是初と最後の頁 62 - 69 1 . 著者名 3 . 雅哉名 3 . 雅哉名 4 . 巻 2 .		1
従五百個漢字走進古文字世界 2022年 3、純試名 6、最初と最後の頁 お用調益文の001 (デジタルオプジェクト識別子) 五歳の有無 なし オープンアクセス オープンアクセス 国際共著 1、差者名 製海宇 4、巻 2、論文標題 海来以果堪葉吉官印経考 5、最行年 2022年 3、雑試名 海球上明究 6、最初と最後の頁 30・38 1、差者名 製海中、 温澤太善 4、巻 2、論文標題 日本哲手県立博物館蔵古屋印的学術価値 5、発行年 2022年 3、雑試名 病法 6、最初と監後の頁 6と2・60 6を2・60 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2 6を2	2022年 3. 雑誌名 中華誌書報 6. 最初と最後の頁 16版 掲載論文の101(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 劉海子 週末以来塩素古官印輯者 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 3. 雑誌名 第海子、玉澤友基 2. 論文書類 1. 著者名 劉治子、玉澤友基 2. 論文書類 1. 著者名 劉治子、玉澤友基 6. 最初と最後の頁 30 - 38 1. 著者名 劉治子、玉澤友基 6. 最初と最後の頁 30 - 38 4. 巻 2. 論文書類 6. 最初と最後の頁 30 - 38 1. 著者名 劉治子、玉澤友基 6. 最初と最後の頁 30 - 38 4. 巻 2. 論文書類 6. 最初と最後の頁 30 - 38 4. 巻 2. 論文書類 6. 最初と最後の頁 62 - 69 月春野論文の101(デジタルオブジェクト識別子) なし 3. 雑誌名 第浩子、玉澤友基 6. 最初と最後の頁 62 - 69 月春野論文の101(デジタルオブジェクト識別子) なし 7. 元ブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 劉治子、エ澤友妻の頁 62 - 69 月春野論文の101(デジタルオブジェクト識別子) なし 7. 元ブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスの10種 1. 著者名 劉治子 4. 巻 4. 巻 4. 巻 4. 巻 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁	会立無時	c ※/
3 雑誌名 中華読書報	日報読書報 6 . 最初と最後の頁 16版 2 . 最初と配金の目 (デジタルオプジェクト識別子) 2 . 論文標題 2 . 論文標題 2 . 高文序程 2 . 最初と最後の頁 3 . 確認とのの目 (デジタルオプジェクト識別子) 2 . 最初名 2 . 最初名 2 . 最初と最後の頁 3 . 確認名 2 . 最初と最後の頁 3 . 確認名 2 . 最初と最後の頁 3 . を 2 . 最初と最後の頁 3 . 確認名 3 . 確認名 3 . 確認名 3 . 確認名 4 . を 2 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2 . 最初と最後の頁 6 . 是初と最後の頁 6		
中華誌世経 16版	中華読書報 16版 2000 (デジタルオプジェクト識別子) 空誘の有無 有 3 2 3 1 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3	促五白個漢字走進古文字世界	2022年
中華誌世経 16版	投戦論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 超談の有無 有		
中華誌世経 16版	投戦論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 超談の有無 有	一,雑誌名	6.最初と最後の頁
指載論文の001(デジタルオブジェクト海別子) 虚読の有無 有	接載論文の201 (デジタルオプジェクト識別子)		
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 2. 論文牌題 唐末以来塩業古官印輯者 3. 始誌名 なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 コーネビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 音法の有無 なし オープンアクセス 国際共著 4. 巻 22 1 論文標題 日本ビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 第一名 オープンアクセス カース オープンアクセス オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス 国際共著 カース オープンアクセス 国際共著	本・プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4・巻 1 2・論文標題	T 羊机自拟	ТОЛІХ
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 2. 論文牌題 唐末以来塩業古官印輯者 3. 始誌名 なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 コーネビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 音法の有無 なし オープンアクセス 国際共著 4. 巻 22 1 論文標題 日本ビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 第一名 オープンアクセス カース オープンアクセス オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス 国際共著 カース オープンアクセス 国際共著	本・プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 1 著者名 1 第一次 2.論文標題 5.銀行年 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 30・38		
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 2. 論文牌題 唐末以来塩業古官印輯者 3. 始誌名 なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 スープンアクセスではない、又はオープンアクセスが固難 1. 著名名 劉海宇 コーネビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 音法の有無 なし オープンアクセス 国際共著 4. 巻 22 1 論文標題 日本ビー県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 結誌名 第一名 オープンアクセス カース オープンアクセス オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス カース オープンアクセス 国際共著 カース オープンアクセス 国際共著	本・プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 1 著者名 1 第一次 2.論文標題 5.銀行年 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 30・38		
1 著名名 到海宇	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇 2. 論文標題 唐末以来塩業古官印輯考 3. 雑誌名 3. 雑誌名 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇、玉澤友基 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古曜印的学術価値 3. 雑誌名 4. 巻 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古曜印的学術価値 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 4. 巻 2	i載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 1 1 . 著者名 割海宇 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信法 4 . 巻 2022年 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 2022年 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし ま読の有無 有 2021年 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 . ※ 3 . 雑誌名 6 . 最初を開きると異学術価値 5 . 発行年 2021年	なし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 1 1 . 著者名 割海宇 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信法 4 . 巻 2022年 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 2022年 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし ま読の有無 有 2021年 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 . ※ 3 . 雑誌名 6 . 最初を開きると異学術価値 5 . 発行年 2021年		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 1 1 . 著者名 割海宇 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 2022年 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 信法 4 . 巻 2022年 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 2022年 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし ま読の有無 有 2021年 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 . ※ 3 . 雑誌名 6 . 最初を開きると異学術価値 5 . 発行年 2021年	・ーゴンアクセス	国際共業
1 . 著名名 割海宇	1 . 著者名 劉洵字 4 . 巻 1 2 . 論文標題 唐宋以来塩業古管印輯考 5 . 発行年 2022年 3 . 触誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 1 . 著者名 劉洵字、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 電法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 劉洵宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 * 梅華堂印賞。及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
製海字 1 2 . 論文標題 唐宋以來塩業古官印轄考 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 電業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著書名 製海字、玉澤友甚 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 域数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 4 1 . 著者名 製海字 4 . 巻 4 2 . 論文課題 "梅華堂印音"及其学術価値 5 . 飛行年 2021年 3 . 雑誌名 教題文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 報報ののOOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 電読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	割海宇 1 2 . 論文標題 唐末以来塩業古官印輯考 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 直読の有無 62 - 69 1 . 著者名 割海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 作梅華堂印賞。及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープジアグセスではない、 又はオープジアグセスが困難	-
製海字 1 2 . 論文標題 唐宋以來塩業古官印轄考 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 電業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著書名 製海字、玉澤友甚 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 域数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 4 1 . 著者名 製海字 4 . 巻 4 2 . 論文課題 "梅華堂印音"及其学術価値 5 . 飛行年 2021年 3 . 雑誌名 教題文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 報報ののOOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 電読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	割海宇 1 2 . 論文標題 唐末以来塩業古官印輯考 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 直読の有無 62 - 69 1 . 著者名 割海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 作梅華堂印賞。及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
製海字 1 2 . 論文標題 唐宋以來塩業古官印轄考 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 電業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著書名 製海字、玉澤友甚 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 飛行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 域数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 4 1 . 著者名 製海字 4 . 巻 4 2 . 論文課題 "梅華堂印音"及其学術価値 5 . 飛行年 2021年 3 . 雑誌名 教題文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 報報ののOOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 電読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	割海宇 1 2 . 論文標題 唐末以来塩業古官印輯考 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 - 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雜誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 62 - 69 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 直読の有無 62 - 69 1 . 著者名 割海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 作梅華堂印賞。及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		4 . 巻
2. 論文標題 唐宋以来塩業古官印輯考 5. 第行年 2022年 3. 雑誌名 塩業史研究 6. 最初と最後の頁 30・38 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 直膝の有無 有 1. 著名名 制海平、玉澤友基 4. 巻 2 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5. 飛行年 2022年 3. 雑誌名 書法 6. 最初と最後の頁 62・69 月載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 直膝の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 4 1. 著名名 劉海宇 『梅華堂印質』及其学術価値 4. 巻 4 3. 雑誌名 現実研究 6. 最初と最後の頁 51・63 4	2 : 論文標題		
唐宋以来塩業古官印輯考 2022年 3 . 雑誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 · 38 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 1 · 著名名 劉海宇、玉澤友基 4 · 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古題印的学術価値 5 · 飛行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 · 最初と最後の頁 62 · 69 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著名名 劉海宇 4 · 巻 4 2 . 論文標題 "梅華堂印賞』及其学術価値 4 · 巻 4 3 . 雑誌名 戦国文字研究 5 · 飛行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 5 · 元子ジアクセス 掲載論文の0001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 5 · 1 · 名 5 · 1 · 3 5 · 1 · 3 6 · 1 · 3 6 · 1 · 3 6 · 1 · 3 7 · 1 · 3 7 · 1 · 3 8 · 1 · 3	唐末以来塩業古官印輯考 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁30-38 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著 - 1.著者名 劉海宇、玉澤友基 4.巻 2 2.論交標題日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5. 発行年2022年 3.雑誌名書法 6.最初と最後の頁62-69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名割約字 4.巻 4 2.論交標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	变]/中 	'
唐宋以来塩業古官印輯考 2022年 3 . 雑誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 · 38 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 1 · 著名名 劉海宇、玉澤友基 4 · 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古題印的学術価値 5 · 飛行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 · 最初と最後の頁 62 · 69 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著名名 劉海宇 4 · 巻 4 2 . 論文標題 "梅華堂印賞』及其学術価値 4 · 巻 4 3 . 雑誌名 戦国文字研究 5 · 飛行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 5 · 元子ジアクセス 掲載論文の0001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 5 · 1 · 名 5 · 1 · 3 5 · 1 · 3 6 · 1 · 3 6 · 1 · 3 6 · 1 · 3 7 · 1 · 3 7 · 1 · 3 8 · 1 · 3	唐末以来塩業古官印輯考 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁30-38 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著 - 1.著者名 劉海宇、玉澤友基 4.巻 2 2.論交標題日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 5. 発行年2022年 3.雑誌名書法 6.最初と最後の頁62-69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名割約字 4.巻 4 2.論交標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	AA A IFRE	= 7V./= (-
3 . 雑誌名 塩業史研究	3 . 雑誌名 塩業史研究 6 . 最初と最後の頁 30 · 38 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 割海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 62 · 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 養者名 劉海宇 1 . 養者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
塩業史研究 30 - 38	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	唐宋以来塩業古官印輯考	2022年
塩業史研究 30 - 38 30	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		· ·
塩業史研究 30 - 38 30	指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有	雑誌名	6 是初と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉洵宇、玉澤友基 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古蟹印的学術価値 3. 雑誌名 書法 6. 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセス コーズンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉洵宇 2. 論文標題 「特別管理の質」及其学術価値 3. 雑誌名 4. 巻 2. 論文標題 「特理室印賞」及其学術価値 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 4. 巻 4 2. 論文標題 「特理室印賞」及其学術価値 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 戦国文字研究 「表述の有無 なし オープンアクセス 関数論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし まます。 も、最初と最後の頁 51 - 63	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
なし 有	なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1.著者名 劉海宇、玉澤友基 4.巻 2 2.論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5.発行年 2022年 3.雑誌名 書法 6.最初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	塩耒丈妍九	30 - 38
なし 有	なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1. 著者名 劉海宇、玉澤友基 4. 巻 2 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 書法 6. 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 劉海宇 1. 著者名 劉海宇 4. 巻 4 2. 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁		
なし 有	なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1.著者名 劉海宇、玉澤友基 4.巻 2 2.論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5.発行年 2022年 3.雑誌名 書法 6.最初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 劉海宇 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁		
なし 有	なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 野海宇、玉澤友基 2 5 . 発行年日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 6 . 最初と最後の頁 62 - 69	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 1 . 著者名 劉海宇 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 62 - 69		
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1. 著者名 劉海宇、玉澤友基 4. 巻 2 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 書法 6. 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 1. 著者名 劉海宇 4. 巻 4 2. 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 戦国文字研究 6. 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 61 - 最初と最後の頁 51 - 63	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス なし 国際共著 イープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	40	Fig. 19
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1. 著者名 劉海宇、玉澤友基 4. 巻 2 2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 書法 6. 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 1. 著者名 劉海宇 4. 巻 4 2. 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 戦国文字研究 6. 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 61 - 最初と最後の頁 51 - 63	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 62 - 69 オープンアクセス なし 国際共著 イープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
1 · 著者名 劉海宇、玉澤友基 2 · 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 3 · 雑誌名 書法 6 · 最初と最後の頁 62 · 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 · 著者名 劉海宇 2 · 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 · 発行年 2021年 3 · 雑誌名 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 5 · 発行年 2021年 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 7 · 日本音の有無 なし 8 · 日本音の有無 なし	1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 4 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	=	┃国際共著
1 · 著者名 劉海宇、玉澤友基 2 · 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 3 · 雑誌名 書法 6 · 最初と最後の頁 62 · 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 · 著者名 劉海宇 2 · 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 · 発行年 2021年 3 · 雑誌名 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 5 · 発行年 2021年 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 6 · 最初と最後の頁 5 · 発行年 2021年 7 · 日本音の有無 なし 8 · 日本音の有無 なし	1 . 著者名 劉海宇、玉澤友基 4 . 巻 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 4 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
製海字、玉澤友基 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 4 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	劉海宇、玉澤友基22 .論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値5 . 発行年 2022年3 . 雑誌名 書法6 . 最初と最後の頁 62 - 69掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1 . 著者名 劉海宇4 . 巻 42 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁		•
製海字、玉澤友基 2 2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 4 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	劉海宇、玉澤友基22.論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値5.発行年 2022年3.雑誌名 書法6.最初と最後の頁 62-69掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 劉海宇4.巻 42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁	茎 老夕	Λ
2 . 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 書法 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 割海字 4 . 巻 4 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値5.発行年 2022年3.雑誌名 書法6.最初と最後の頁 62-69掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 劉海宇4.巻 42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁		
日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 2022年 3 . 雑誌名書法 6 . 最初と最後の頁62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値2022年3.雑誌名書法6.最初と最後の頁62-69掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし査読の有無有オープンアクセス国際共著オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1.著者名劉海宇4.巻 42.論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁	<u> </u>	2
日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 2022年 3 . 雑誌名書法 6 . 最初と最後の頁62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値2022年3.雑誌名書法6.最初と最後の頁62-69掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし査読の有無有オープンアクセス国際共著オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難-1.著者名劉海宇4.巻 42.論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁		
日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値 2022年 3 . 雑誌名書法 6 . 最初と最後の頁62 - 69 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	日本岩手県立博物館蔵古璽印的学術価値2022年3.雑誌名書法6.最初と最後の頁62-69掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし査読の有無有オープンアクセス国際共著オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1.著者名劉海宇4.巻 42.論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁	論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名書法 6 . 最初と最後の頁62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オーブンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著	3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	日本岩手具立博物館蔵古璽印的学術価値	2022年
書法 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	書法62 - 69掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 -1 . 著者名 劉海宇4 . 巻 42 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	日本日子公子公司的时间 11990年	2022
書法 62 - 69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	書法62 - 69掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 -1 . 著者名 劉海宇4 . 巻 42 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	ht	6 見知に見後の五
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1 . 著者名 劉海宇4 . 巻 42 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	書法	62 - 69
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 劉海宇4.巻 42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 劉海宇4.巻 42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし有オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1 . 著者名 劉海宇4 . 巻 42 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	(載論文のDOI(デジタルオブジェクト禁則子)	
オープンアクセス 国際共著 1.著者名 劉海宇 4.巻 4 2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	なし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	ープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 戦国文字研究 6 . 最初と最後の頁 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 劉海宇 4 . 巻 4 2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
劉海宇42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名 戦国文字研究6.最初と最後の頁 51-63掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	劉海宇42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁	TO THE PROPERTY OF THE PROPERT	l
劉海宇42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名 戦国文字研究6.最初と最後の頁 51-63掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	劉海宇42.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値5.発行年 2021年3.雑誌名6.最初と最後の頁	***	4 34
2.論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5.発行年 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	劉海宇	4
『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁		
『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 戦国文字研究 6.最初と最後の頁 51-63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	『梅華堂印賞』及其学術価値 2021年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	論文種 題	5
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 戦国文字研究 51 - 63 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	3.雑誌名 6.最初と最後の頁		
戦国文字研究 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著		" 栂華宝印員 』 及其字例価値	2021年
戦国文字研究 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著			
戦国文字研究 51 - 63 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著		. 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 N I N I N I N I N I N I N I N I N I N		
なし 有 オープンアクセス 国際共著			31 - 03
なし 有 オープンアクセス 国際共著			
なし 有 オープンアクセス 国際共著			
オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	ammatampodol(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著	なし、	なし	有
			F
	ナープンフクセフ		
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが闲難		・ゴンフカもフ	
	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		国際共著
	なし	戦国文字研究 郵載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	51 - 63 査読の有無 有
	オープンアクヤス 国際共著		
コーフファイにハトID/ON IN - A ID/O - フファイにハリ PTI #FE		ープンアクセス	国際共著

1.著者名	4.巻
劉海宇	-
2 . 論文標題	5.発行年
新見秦漢印五方	
新兄 荣 漢叩五力	2021年
0. 1844.69	6 PARI P// 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
上海復旦大学出土文献与古文字研究中心HP2021年12月27日	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
60	,
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	国际八有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
劉海宇・玉澤友基	10
2. 論文標題	5 . 発行年
新発見羅振玉篆刻五方	2021年
例に元元帥以上外外は上八	2021+
つ htt÷t·ク	(目知に目後の苦
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
中国国家博物館館刊	123 - 131
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4.巻
劉海宇・玉澤友基	6
2 . 論文標題	5 . 発行年
『夢庵蔵鈎』所収有銘銅帯鈎調査研究	2021年
ン (Manager 17 17 にならない 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2021
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** *	
青銅器與金文	182 - 192
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	☆読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
なし	有
オープンアクセス	
なし	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇	有 国際共著 - 4.巻 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇	有 国際共著 - 4.巻 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名 簡帛網2021年8月2日	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名 簡帛網2021年8月2日	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名 簡帛網2021年8月2日	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名 簡帛網2021年8月2日 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 - -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉海宇 2 . 論文標題 從相關古璽字形説清華簡『廼命(二)』用為「掩」的字 3 . 雑誌名 簡帛網2021年8月2日	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -

[〔学会発表〕 計3件(うち招待講演 1件/うち国際学会 2件)	<u> </u>
1.発表者名	
劉海宇	
2.発表標題	
古璽文字與其他類戦国文字合証挙例(四則)	
3 . 学会等名	
清華大学和合文明論壇(招待講演)(国際学会)	
4.発表年	
2022年	
2022年	
1.発表者名	
劉海宇・松村一徳	
2.発表標題	
和泉市久保惣美術館藏古璽的調査與研究	
3. 子云寺石 日本中国出土資料学会2022年度第2回大会	
4.発表年	
2022年	
1 . 発表者名 劉海宇	
<u>銀/</u> 母于	
2.発表標題	
唐宋以来塩業古官印輯考	
3 . 学会等名	
国際シンポジウム「手工業考古黄華論壇 - 以塩業考古為中心」(国際学会)	
4.発表年	
2021年	
_ 〔図書〕 計2件	
1 . 著者名	4 . 発行年
劉海宇、玉澤友基	2024年
2. 出版社	5.総ページ数
上海書画出版社	322
3 . 書名	
3・自古	
	I

1 . 著者名 劉海宇・玉澤友基 	4 . 発行年 2021年
2.出版社 上海書画出版社	5.総ページ数 ²⁹⁹
3.書名 日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6. 研究組織

ь	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	藪 敏裕	岩手大学・教育学部・特命教授	
研究分担者	(Yabu Toshihiro)		
	(20220212)	(11201)	
	玉澤 友基	岩手大学・人文社会科学部・嘱託教授	
研究分担者	(Tamazawa Yuki)		
	(40241492)	(11201)	

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------